

国内排出量取引制度検討会 中間まとめ

(目次：座長案)

1. はじめに（設置要領をベースとする）
 - 検討会の目的
温暖化対策の国内施策手法の一つとしての国内排出量取引制度に関し、諸外国の動向も踏まえ、その有効性や必要性の判断に資するため、我が国の実情を踏まえた具体的な制度設計のあり方を検討する。
 - 検討内容
国内排出量取引制度の構成要素のあり方
国内排出量取引制度の基盤整備のあり方
2. 国内排出量取引制度の検討に当たって
 - 検討会における総論的な議論を整理（第4回資料6をベースとする）
3. 制度の構成要素・基盤整備に関する論点について
 - 検討会における各論的な議論を整理
（各回に提出された各論についての資料をベースとする）
 - (1) 期間設定と割当総量
 - (2) 遵守評価、ペナルティ
 - (3) 対象ガス
 - (4) 対象とカバレッジ
 - (5) 排出枠の割当方法
 - (6) モニタリング・検証、登録簿
 - (7) 費用緩和措置
 - (8) 国際リンク
 - (9) 国際競争下にある業種への配慮
補論：影響の大きい業種の特定に関する研究
 - (10) 会計処理上・税務上の扱いの明確化
 - (11) 市場に期待される機能を適切に働かせるための措置(参考) それぞれの論点についての諸外国の事例・考え方
4. 制度オプション試案
 - 検討会における総論及び各論的な議論を踏まえ、導入するとした場合に考えられるいくつかの制度オプションの試案を提示
5. 終わりに
 - 今後の検討課題を提示